

## 記入例

様式第八（第十条関係）

### 特定施設の構造等変更届出書

令和〇〇年〇月〇〇日

**コメントの追加 [s1]:**  
届出書の作成日ではなく“提出日”を記入してください。

鹿児島市水道事業及び  
公共下水道事業管理者 殿

申 請 者

住 所 鹿児島市〇〇〇丁目〇〇番〇〇号

電話番号 099-123-1111

氏 名 株式会社〇〇食品  
代表取締役社長 〇〇 〇〇

（氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名）

**コメントの追加 [s2]:**  
原則として法人の代表者が届出者となります。住所や電話番号が揃った“社判”をご使用いただいても構いません。

下水道法第12条の4の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

※所長等を届出者とする場合は、法人の代表者からの“委任状”を添付してください。  
なお、その場合は、所長が変更する度に委任状が必要となります。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇食品 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	(住居表示) 鹿児島市〇〇町〇〇番〇〇号 (地番) 鹿児島市〇〇町〇〇〇番	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	66号の5 弁当製造業の用に供する 厨房施設	※施設番号	
△特定施設の構造 (特定施設の使用方法、 汚水の処理の方法、 下水の量及び水質、 用水及び排水の系統)	別紙のとおり	※審査結果	
		※備考	

**コメントの追加 [s3]:**  
原則として“住居表示”を記載してください。  
また可能な場合は地番も記載してください。

**コメントの追加 [s4]:**  
該当しないものには二重線を引いてください。

#### 備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照されるものとする。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記入例

別紙 1

特定施設の構造

特定施設の種類 (名称)	【変更後】 66 号の 5 弁当製造業の用に供する 厨房施設	【変更前】 66 号の 5 弁当製造業の用に供する 厨房施設
特定施設の型式	別紙のとおり	別紙のとおり
特定施設の能力	△△△食／日	〇〇〇食／日
特定施設の構造	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
着工予定年月日	令和△△年△月△△日	令和〇〇年〇月〇〇日
完成予定年月日	令和△△年△月△△日	令和〇〇年〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和△△年△月△△日	令和〇〇年〇月〇〇日
参考事項	(厨房面積△△△㎡、 総床面積△△△㎡) 提供食数の増加に伴い、 厨房を拡大 年間操業日数：〇〇〇日	(厨房面積〇〇〇㎡、 総床面積〇〇〇㎡)

コメントの追加 [s5]:  
変更後と変更前がわかるように記入してください。

コメントの追加 [s6]:  
構造が確認できる製品のカタログや設計図面等を添付  
してください。

コメントの追加 [s7]:  
全体の工事の着工日ではなく、特定施設の構造変更の着  
工日を記入してください。  
  
なお、本届出はこの日より“60 日前”までに提出する  
ことになっています。

コメントの追加 [s8]:  
変更理由や経緯を記入してください。

コメントの追加 [A9]:  
年間の操業日数を記載してください。

※ただし、年末年始等に工場等を休止させ、事務処理の  
みになり使用水量が極端に減るような場合は除外して  
ください。

【例】  
270 日 (カレンダー通り)  
300 日 (週休 1 日・年末年始休み)  
350 日 (お盆・年末年始休み)  
360 日 (年末年始休み)  
365 日 (年中無休)

備考

- 特定施設の種類については水質汚濁防止法施行令（昭和 46 年政令第 188 号）別表第一及びダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成 11 年政令第 433 号）別表第二に掲げる号番号及び施設名称並びに特定施設を構成する各種装置を記入すること。
- 特定施設の構造については、その構造概要図を添付すること。概要図は主要寸法を記入し日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの、又は既存図を用いること。
- 特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図（施設番号をつける）を添付すること。

記入例

別紙 2

特定施設の使用の方法

特定施設の種類（名称）			【変更後】 66 号の 5 弁当製造業の用に供する 厨房施設	【変更前】 66 号の 5 弁当製造業の用に供する 厨房施設
特定施設の設置場所			別紙のとおり	別紙のとおり
使用状況	使用時間間隔		9 : 00 ~ 17 : 00 : ~ : 8 時間 / 1 回 1 回 / 日	10 : 00 ~ 18 : 00 : ~ : 8 時間 / 1 回 1 回 / 日
	1 日の使用時間		8 時間	8 時間
	季節変動		変更なし	年末は増える
使用原材料 (特定施設の作業 工程に使用する 原材料。(消耗 資材を含む。))	種類		変更なし	肉類・野菜・魚類・米
	使用方法		変更なし	調理・加工して使用
	1 日当りの使用量		肉類△△kg・野菜△△kg・ 魚類△△kg・米△△kg	肉類○○kg・野菜○○kg・ 魚類○○kg・米○○kg
特定施設から 排出される汚水 の水量及び水質	水量	通常量	△△ m <sup>3</sup> /日	○○ m <sup>3</sup> /日
		最大量	△△ m <sup>3</sup> /日	○○ m <sup>3</sup> /日
	水質	通常値	pH : ○○ ~ ○○ SS : ○○ mg/L BOD : ○○mg/L n-Hex 抽出物質 : ○○ mg/L	pH : ○○ ~ ○○ SS : ○○ mg/L BOD : ○○ mg/L n-Hex 抽出物質 : ○○ mg/L
		最大値	pH : △△ ~ △△ SS : △△ mg/L BOD : △△ mg/L n-Hex 抽出物質 : △△ mg/L	pH : △△ ~ △△ SS : △△ mg/L BOD : △△ mg/L n-Hex 抽出物質 : △△ mg/L
参考事項				

コメントの追加 [s10]:  
特定施設が稼働している 1 日あたりの通算の時間を記入してください。

コメントの追加 [s11]:  
最大量が不明の場合には通常量の“1.5 倍”の水量を記入してください。

備考

- 「特定施設の設置場所」は、別紙（添付図）で事業場全体図に特定施設・処理を要する排水にかかわる施設の設置場所を記入すること。
- 「水質」の欄には、作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値等を記入すること。
- 「特定施設を含む操業の系統」について、その概要を記した説明書を添付すること。

記入例

別紙3

汚水の処理の方法

汚水処理施設の種類（名称）			【変更後】 凝集加圧浮上処理施設	【変更前】 凝集加圧浮上処理施設	
汚水の処理施設の設置場所			変更なし	別紙のとおり	
汚水処理施設の 設置年月日	着工予定年月日		令和〇〇年〇月〇〇日	令和〇〇年〇月〇〇日	
	完成予定年月日		令和〇〇年〇月〇〇日	令和〇〇年〇月〇〇日	
	使用開始予定年月日		令和〇〇年〇月〇〇日	令和〇〇年〇月〇〇日	
汚水処理施設の 構造等	型式		変更なし	別紙のとおり	
	構造				
	主要寸法				
	能力				
	処理の方法				
汚水処理施設の 使用状況	使用時間間隔		常時（9時～18時）	常時（10時～19時）	
	1日の使用時間		9時間	9時間	
	季節変動		年末は増える	年末は増える	
	消耗資材（薬品等） の 使 用 量 / 日		凝集剤 △kg／日 苛性ソーダ △kg／日	凝集剤 ○kg／日 苛性ソーダ ○kg／日	
汚水処理施設で 発生する残さ等	残さの種類		凝集浮上汚泥	凝集浮上汚泥	
	1月間の生成量		△ kg/月	○ kg/月	
	処理 ・ 処分の方法		産業廃棄物処理業者〇〇社 にて処理委託	産業廃棄物処理業者〇〇社 にて処理委託	
汚水処理施設による 処理前及び処理 後の水量 ・ 水質	処理前	通常量		△△ m³/日	〇〇 m³/日
		最大量		△△ m³/日	〇〇 m³/日
		水質	通常値	pH：〇〇 ～ 〇〇 BOD：〇〇 mg/L SS：〇〇 mg/L n-Hex 抽出物質：〇〇 mg/L	pH：〇〇 ～ 〇〇 BOD：〇〇 mg/L SS：〇〇 mg/L n-Hex 抽出物質：〇〇 mg/L
			最大値	pH：△△ ～ △△ BOD：△△ mg/L SS：△△ mg/L n-Hex 抽出物質：△△ mg/L	pH：△△ ～ △△ BOD：△△ mg/L SS：△△ mg/L n-Hex 抽出物質：△△ mg/L
	処理後	通常量		△△ m³/日	〇〇 m³/日
		最大量		△△ m³/日	〇〇 m³/日
		水質	通常値	pH：〇〇 ～ 〇〇 BOD：〇〇 mg/L SS：〇〇 mg/L n-Hex 抽出物質：〇〇 mg/L	pH：〇〇 ～ 〇〇 BOD：〇〇 mg/L SS：〇〇 mg/L n-Hex 抽出物質：〇〇 mg/L
			最大値	pH：△△ ～ △△ BOD：△△ mg/L SS：△△ mg/L n-Hex 抽出物質：△△ mg/L	pH：△△ ～ △△ BOD：△△ mg/L SS：△△ mg/L n-Hex 抽出物質：△△ mg/L

コメントの追加 [s12]:  
営業時間や特定施設の使用時間ではなく、汚水処理施設  
が稼働している時間を記入してください。

コメントの追加 [s13]:  
特定施設設置届出書の提出時から変更がある場合は、改  
めて委託業者との“契約書”の写しを添付してください。

備考 1 「汚水処理の系統」：処理の概要を別紙添付図に記入し、処理系統別に色分けすること。  
2 汚水の集水及び処理施設から最終排出口までの導水の概要を、別紙添付図に記入し系統別に色分けすること。  
3 「水質」の欄には、作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入すること。

記入例

別紙 4

下水の量及び水質

・ 公共下水道への排出口における水量及び水質

排出口名			【変更後】排出口①		【変更前】排出口①	
下水の量			通常量	△△ m³/日	〇〇 m³/日	
			最大量	△△ m³/日	〇〇 m³/日	
下水の水質	項目	単位	通常値	最大値	通常値	最大値
	温度	℃	△△	△△	〇〇	〇〇
	水素イオン濃度	水素指数	△△	△△	〇〇	〇〇
	生物化学的酸素要求量	mg/L	△△	△△	〇〇	〇〇
	浮遊物質量	mg/L	△△	△△	〇〇	〇〇
	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	鉱油類含有量	mg/L			
		動植物油脂類含有量	mg/L	△△	△△	〇〇
	よう素消費量	mg/L				
	カドミウム及びその化合物	mg/L				
	シアン化合物	mg/L				
	有機燐化合物	mg/L				
	鉛及びその化合物	mg/L				
	六価クロム化合物	mg/L				
	ひ素及びその化合物	mg/L				
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L				
	アルキル水銀化合物	mg/L				
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L				
	トリクロロエチレン	mg/L				
	テトラクロロエチレン	mg/L				
	ジクロロメタン	mg/L				
	四塩化炭素	mg/L				
	1,2-ジクロロエタン	mg/L				
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L				
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L				
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L				
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L				
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L				
	チウラム	mg/L				
	シマジン (CAT)	mg/L				
	チオベンカルブ	mg/L				
	ベンゼン	mg/L				
	セレン及びその化合物	mg/L				
	ほう素及びその化合物	mg/L				
	ふっ素及びその化合物	mg/L				
	1,4-ジオキサン	mg/L				
	フェノール類	mg/L				
	銅及びその化合物	mg/L				
	亜鉛及びその化合物	mg/L				
	鉄及びその化合物 (溶解性)	mg/L				
	マンガン及びその化合物 (溶解性)	mg/L				
	クロム及びその化合物	mg/L				
	ダイオキシン類	pg-TEQ/L				

**コメントの追加 [s14]:**  
下水道本管への排出口毎に記入してください。  
名称は自由に設定していただいて構いませんが、その他の別紙や添付書類と統一してください。

**コメントの追加 [s15]:**  
事業形態や取り扱い薬品等を考慮して記入してください。  
原材料等に含有されず、製造過程においても使用しないなど、明らかに排水に含まれることのない項目については記入の必要はございません。

ただし、薬品等を全量回収し委託処理している場合においては、たとえ排水として公共下水道に排出する可能性がないとしても、使用しているものについては全て記入してください。

備考

- 1 排出口が2ヶ所以上ある場合は、排出口ごとに記入すること。
- 2 「水質」の欄には、下水が公共下水道に排出される際の水質を排出口ごとに記入すること。

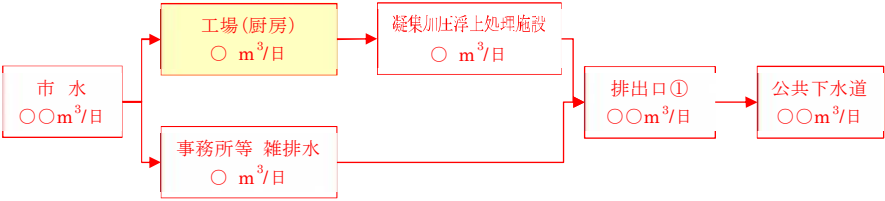
記入例

別紙 5

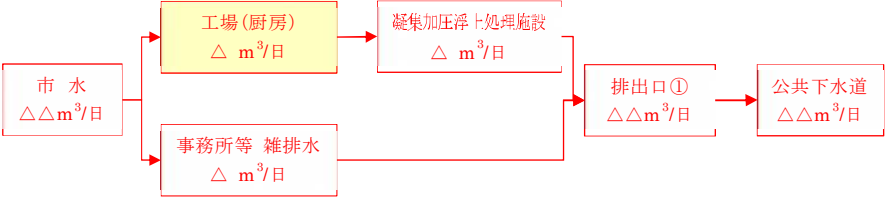
用水及び排水の系統

当該特定事業場における使用水の取水から特定施設、污水处理施設を経て、公共下水道に排除されるまでの系統について図示し、これに各々の工程に入る水の量を記入して用途別用水使用量を明確にすること。

【変更前】



【変更後】



記入例

事業場名 株式会社〇〇食品 〇〇工場

令和〇〇年〇月〇〇日

コメントの追加 [s16]:  
届出書の作成日ではなく“提出日”を記入してください。

使用薬品等調査票（1/2）

チェック※1	物質名	薬品名	使用量	使用方法	使用期間※2
<input checked="" type="checkbox"/>	該当なし				
	四塩化炭素				
	1,2-ジクロロエタン				
	1,1-ジクロロエチレン				
	1,2-ジクロロエチレン				
	1,3-ジクロロプロペン				
	ジクロロメタン				
	テトラクロロエチレン				
	1,1,1-トリクロロエタン				
	1,1,2-トリクロロエタン				
	トリクロロエチレン				
	ベンゼン				
	カドミウム及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	シアン化合物				
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物				
	セレン及びその化合物				
	鉛及びその化合物				
	砒素及びその化合物				
	ふっ素及びその化合物				
	ほう素及びその化合物				
	1,4-ジオキサン				
	シマジン				
	チウラム				
	チオベンカルブ				
	ポリ塩化ビフェニル（PCB）				
	塩化ビニルモノマー				
	有機りん化合物※3				
	ダイオキシン類				

コメントの追加 [s17]:  
下記にあるような物質を使用していない場合は、“該当なし”に○をつけてください。

記入例

事業場名 株式会社〇〇食品 〇〇工場

令和〇〇年〇月〇〇日

コメントの追加 [s18]:  
届出書の作成日ではなく“提出日”を記入してください。

使用薬品等調査票（2/2）

チェック※1	物質名	薬品名	使用量	使用方法	使用期間※2
○	該当なし				
	フェノール類				
	銅及びその化合物				
	亜鉛及びその化合物				
	鉄及びその化合物（溶解性）				
	マンガン及びその化合物（溶解性）				
	クロム及びその化合物				

注意事項

- ※1 現在使用している物質のチェック欄に○をつけ、使用開始年日を記入すること。
- ※2 以前使用していた物質のチェック欄に△をつけ、使用していた期間を記入すること。
- ※3 有機りん化合物は、ジエチルパラニトロフェニルチオホスフェイト（別名パラチオン）、ジメチルパラニトロフェニルチオホスフェイト（別名メチルパラチオン）、ジメチルエチルメルカプトエチルチオホスフェイト（別名メチルジメトン）及びエチルパラニトロフェニルチオホスフェイト（別名E P N）の4物質に限る。